

2010年度

科目名	ゼミナールⅡ			コード	80460
担当教員	小谷 卓也			単位数	4
配当	教福4	講時	集中0限	単位数	4
開期	集中通年	講時	集中0限	単位数	4
授業テーマ	卒業研究に必要な情報検索能力、調査計画能力、データ解析能力、プレゼンテーション能力などの習得				
目的と概要	ゼミナールで決定した卒業研究のテーマに関する先行研究結果をもとに、実際に調査(実験)計画を立てる。さらに調査(実験)の結果得られたデータを詳細に分析して考察し、卒業論文をつくりあげる。最後に、卒業研究について発表を行い、今後の研究課題を明らかにする。				
成績評価法	卒業研究への取り組み(平常点)、卒業論文の質、卒業研究発表、ゼミへの貢献度などによって総合的に評価します。				
テキスト	ゼミ生個々の研究テーマにあった文献や資料を準備します。				
参考書	必要に応じて紹介します。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
[学習項目]	[学習内容]				
<p>第1回卒業研究の年間計画の立案 自らの研究課題に対し、年間を見通した長期の計画を立てる。</p> <p>第2回調査(実験)計画の立案(1) 実行可能な調査(実験)計画を立てる。</p> <p>第3回調査(実験)計画の立案(2) 立案された調査(実験)計画をもとに、物的・人的準備を行う。</p> <p>第4回調査(実験)の実施(1) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第5回調査(実験)の実施(2) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第6回調査(実験)の実施(3) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第7回調査(実験)の実施(4) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第8回調査(実験)の実施(5) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第9回調査(実験)の実施(5) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第10回調査(実験)の実施(6) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第11回調査(実験)の実施(7) 関係機関と協力し、自らの研究課題について調査(実験)を行う。</p> <p>第12回調査(実験)結果の整理(1) 調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。</p> <p>第13回調査(実験)結果の整理(2) 調査(実験)の結果得られたデータを、表やグラフを用いて整理する。</p> <p>第14回データ分析(1) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第15回データ分析(2) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第16回データ分析(3) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第17回データ分析(4) 調査(実験)の結果得られたデータを、適切な手法を用いて分析する。</p> <p>第18回研究結果の考察(1) データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第19回研究結果の考察(2) データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第20回研究結果の考察(3) データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第21回研究結果の考察(4) データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第22回研究結果の考察(5) データの分析結果を考察し、明らかになったことをまとめる。</p> <p>第23回卒業論文の作成(1) 部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第24回卒業論文の作成(2) 部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第25回卒業論文の作成(3) 部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第26回卒業論文の作成(4) 部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第27回卒業論文の作成(5) 部分的に文章化してきた研究成果を統合し、1つの論文にする。</p> <p>第28回研究成果の発表(1) 卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。</p> <p>第29回研究成果の発表(2) 卒業研究の成果を、他者に発表する準備を行う。</p> <p>第30回卒業研究成果発表会 卒業研究の成果を互いに発表し合い、討論する。</p>					